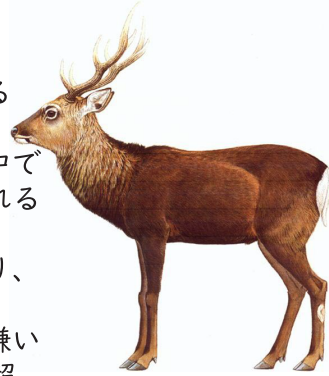


“シカ”とは…

ニホンジカ
(Cervus nippon)
偶蹄目 シカ科 シカ属

日本に昔から暮らしている大型哺乳類です。奥多摩にはニホンジカの中でもホンシュウジカと呼ばれる亜種が生息しています。角はオスにのみはえており、毎年生え変わります。基本的に植物食で、好き嫌いはあるものの1000種を超える様々な植物を食べます。



シカの声聞きに行こう

どんな目的で声を出したかにより、異なりますがシカの声が最もよく聞こえるのはこんなシーン！

朝方や夕方頃。
夜にもよく鳴きます。

薄暗い時間

秋頃

求愛の声が聞こえるのは10月～11月頃だけ。オスが頻りに鳴きます。

森の中

山の中や、広い森の中。奥多摩駅近くではあまり聞こえません。

奥多摩の山へ、シカの声聞きに行きませんか？

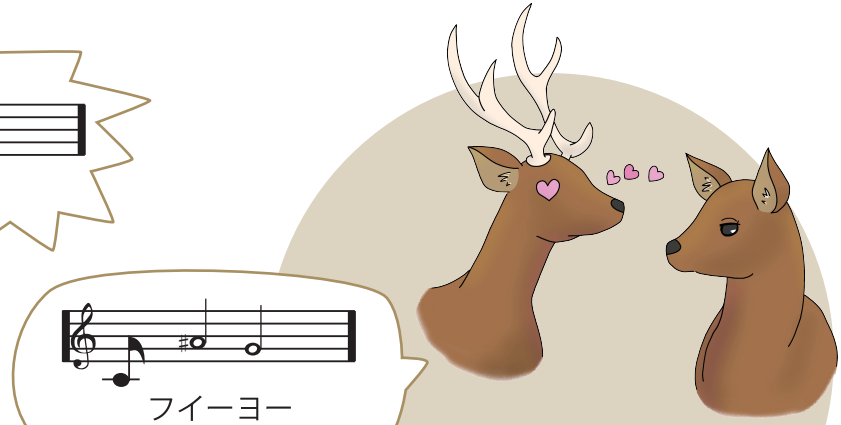
目指せネイティブ!シカ語講座

シカ達の声にはそれぞれ意味があります。そこで、奥多摩でよく聞こえるシカの鳴き声を4つ、聞こえ方とおよその音階でご紹介。お手持ちの楽器等で「こんな感じかな？」とおさらいしてみてください！



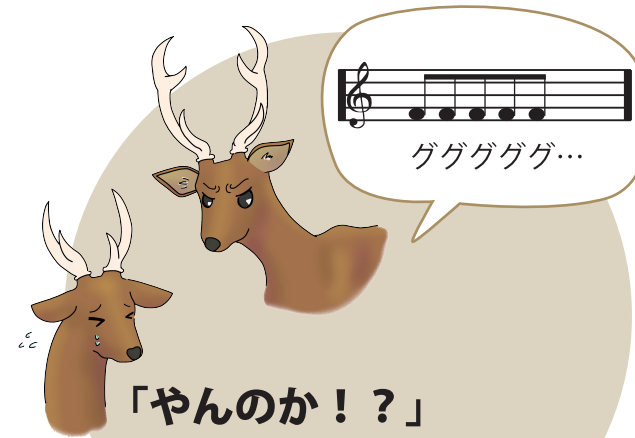
「危ない！」

危険を感じた時に鳴く警戒音声。山を歩くと近くから聞こえてくることが。びっくりします。



「結婚してください♡」

秋にオスが妻を求めて鳴く求愛の声。物哀しく美しい声で、秋の季語たる所以です。

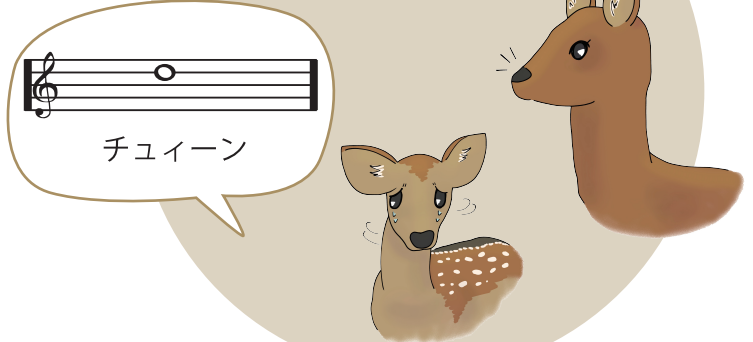


「やんのか!？」

攻撃的な気分の時に鳴く威嚇の声。同性間やメスから立場の弱いオスに向けてよく発されます。

「どこに行ったの？」

母子がお互いを呼ぶ声。はぐれてしまった時も、これで安心。



シカと音声コミュニケーション

シカは鳴くことが知られていますが、これはコミュニケーション方法の一つです。

シカの音声レパートリーは細かい性質で分類すると13種類あるのが分かっており、その内8種類が繁殖期である秋に、オスから発される音声です。繁殖期の音声はより大きく、より高頻度で発されるものもあります。

大きな声で鳴き続けるのはとても疲れること。それでもオス達が鳴き続けるのは、メスに自分の存在をアピールするためです。

シカの繁殖成功の個体差は年間20倍。モテないオスがやっと1匹のメスのハートを射止める間に、モテるオスは20匹のお嫁さんを迎えるわけです。この格差社会の中、次の世代に自らの命を繋げるためにオスのシカは今日も鳴きます。

参考：南正人, ニホンジカは音声で何を伝えているか?, 哺乳類科学 (49(1)), 2009 (113-116)



シカトしないで! シカの声

「無視する」の意で使われている「シカト」という言葉が、シカを語源としているってご存知でしたか? 日本古来のカード遊び花札には、表紙のようにシカの絵が描かれた札があります。この花札のシカがそっぽを向いて無視しているように見えることから、無視することをシカトと言うようになったとされています。

身近な言葉に、シカが潜んでいました。

鹿と共に生きてきた

ふとまに
太占祭

御岳山にある武蔵御嶽神社では、鹿の肩甲骨を炙り、ひび割れ方で吉凶を占う「太占」が行われています。毎年正月に行われる非公開の神事で、武蔵御嶽神社では作物の豊凶を占っています。



季語と鹿

歳時記において鹿は秋の季語。オスの美しい求愛の声が、秋に聞こえてくるからです。

昔から人はシカをよく観察し、最も趣深い時期を知っていました。

シカと共に生きていく

奥多摩では昔から人とシカが共に暮らしてきました。しかし、近年各地でシカの数が増え、問題になっています。

なにが問題?

森の生態系が変わってしまいます。増えすぎたシカに食べ尽くされ、今では豊かな植生はシカ柵の中のみ…環境が変わってしまうと、そこを利用していた他の生き物の暮らしも変わってしまいます。

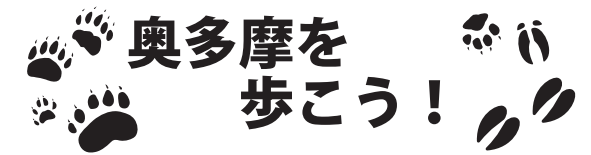


共に生きるために

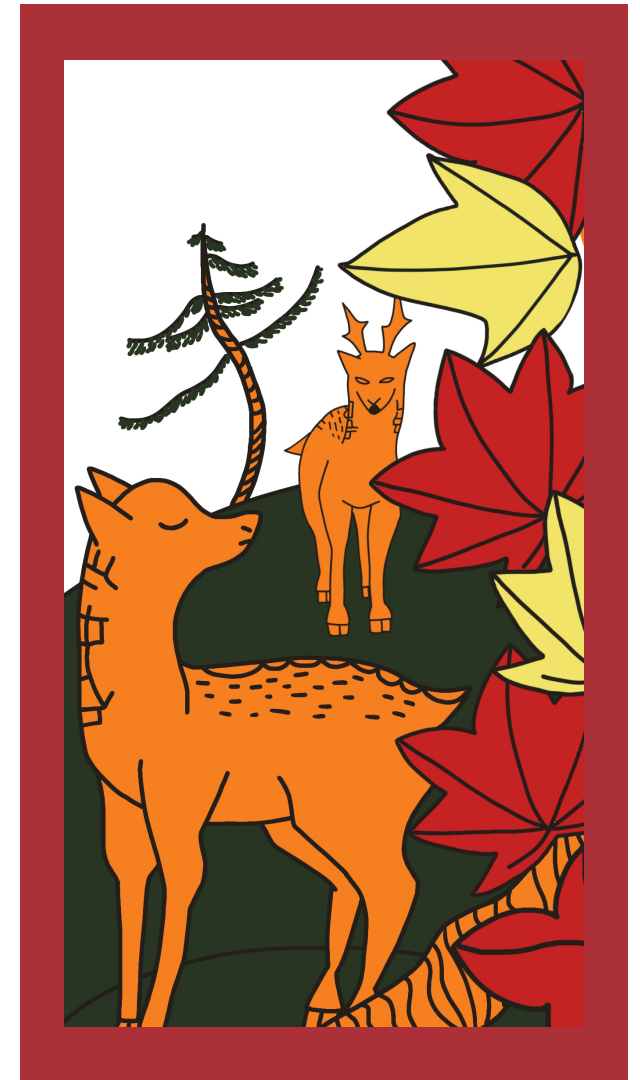
東京都では2005年から「人とシカが共存する森作り」を目指して管理計画を立て、モニタリングやシカ柵の設置などを行ってきました。豊かな森を作るため、シカの生活や自然の状態を調査し続けています。

豊かな森で、シカと共に生きていくために何ができるか、一緒に考えてみませんか。

第131号 奥多摩ビジターセンターセルフガイド



目指せネイティブ! シカ語講座



奥多摩ビジターセンター

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1

TEL: 0428-83-2037 URL: <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>

指定管理者: (株)自然教育研究センター(略称CES)